

5章 計画実現に向けて

5-1 推進体制

みどりの将来像「子どもたちが大人になっても暮らしたいと思える「湧き水」と「みどり」のまち」を実現するためには、市民、市民団体、企業、教育機関、行政がそれぞれの役割を認識し、協働して取組を推進することが必要です。



計画の推進体制

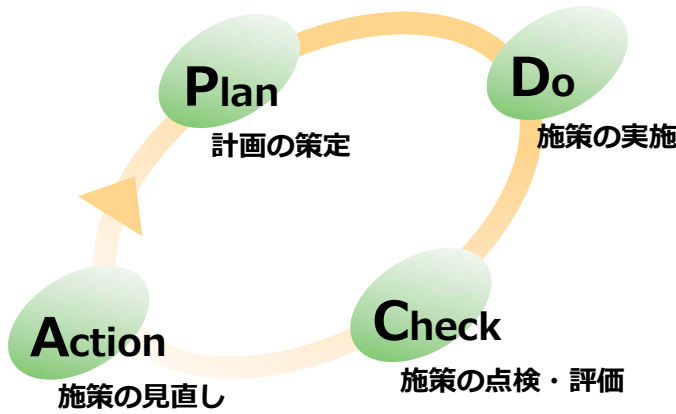


5-2 進捗管理

本計画を推進するため、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）からなる「PDCA サイクル」に基づき、進捗管理を実施します。

施策の進捗管理にあたっては、毎年度施策の進捗状況の確認を行い、市ホームページ等を通じて広く市民に公表します。

また、みどりの専門家、関係団体、市民などから組織される「（仮称）和光すみどりの委員会」を新たに設置し、概ね5年に1度、施策の進捗状況やみどりの現状を把握し、様々な視点で検証や評価を行います。さらに、計画の中間年となる令和13年（2031年）には中間見直しを行います。



PDCA サイクルによる進捗管理

管理	年度	R 3 年 (2021)	R 4 年 (2022)	R 5 年 (2023)	R 6 年 (2024)	R 7 年 (2025)	R 8 年 (2026)	R 9 年 (2027)	R 10 年 (2028)	R 11 年 (2029)	R 12 年 (2030)	R 13 年 (2031)
施策の進捗状況の 確認・公表	計画 策定		●	●	●	●	●	●	●	●	●	中間 見直し
施策の検証・評価							●					

	R 14 年 (2032)	R 15 年 (2033)	R 16 年 (2034)	R 17 年 (2035)	R 18 年 (2036)	R 19 年 (2037)	R 20 年 (2038)	R 21 年 (2039)	R 22 年 (2040)	R 23 年 (2041)
施策の進捗状況の 確認・公表	●	●	●	●	●	●	●	●	●	新計画 策定
施策の検証・評価					●					

施策の進捗管理と計画期間のスケジュール





上谷津ふれあいの森